



九州大学育成ブドウ新品種「BK シードレス」を用いた地域活力の創造

- (1) 九州大学大学院農学研究院とうきは市の連携協定締結による産地化支援
- (2) ブランド果実「みつしずく」の販売本格化

概要

九州大学大学院農学研究院（研究院長 平松和昭）とうきは市（市長 高木典雄）は、2014年9月22日（月）に、「BK シードレス」の栽培及び加工に関する協定書を締結し、大学と自治体が連携してブドウ新品種の産地化を進めます。うきは市は農家に「BK シードレス」の栽培を奨励し、九州大学は栽培に関する指導を行い、共同でうきは市に「BK シードレス」のモデル産地を育成します。

また、本年8月からは、朝倉市及びうきは市の現地試験栽培協力農家が、全国に先駆けてJA 筑前あさくら、JA にじ及び福岡大同青果株式会社を通じて本格的な出荷を始めました。同時に、株式会社トキオ福岡が「BK シードレス」の高品質果実ブランド「みつしずく」の販売を開始しました。

今後、九州大学は、大学育成品種を用いた「攻めの農業」による地域活力の創造を支援していきます。

背景

九州大学大学院農学研究院の若菜章准教授らが育成し品種登録したブドウ新品種「BK シードレス」の栽培実用化のため、九州大学の研究グループの指導のもと、2011年からブドウ生産者による現地試験栽培が進められてきました。（[2011年9月13日](#)、[2013年9月16日プレスリリース参照](#)）

2011年2月に、九州大学育成ブドウ新品種「BK シードレス」が品種登録公表されたことを受け（登録番号：第20373号）、福岡県内5地区のブドウ生産農家が試験栽培を開始し、農学部附属農場及び福岡県内のブドウ生産者圃場において、「BK シードレス」の栽培及び利用に関する研修会を継続的に行ってきました。

2013年秋には、福岡県内の試験栽培農家が生産した「BK シードレス」果実の本格的な販売が開始され、好評を博したことを契機に、農学研究院とうきは市は、「BK シードレス」の栽培産地化及び加工開発に関する連携のあり方について協議を重ね、この度協定を締結する運びとなりました。

また、九州大学の研究グループは、「BK シードレス」の高品質果実の生産促進と消費拡大を目的として、2013年から「BK シードレス」の高品質果実を「みつしずく」という親しみやすい名称でブランド化を進めてきました。

内容

(1) 農学研究院とうきは市との連携協定について

農学研究院とうきは市との連携協定は、九州大学が育成した「BK シードレス」の栽培をうきは市が農家に奨励し、九州大学は栽培の指導、加工及び利用に関する情報を共有して、「BK シードレス」の普及・産地化を目指して、締結するものです。

【協定調印式】

日時：2014年9月22日（月）11時00分～11時30分

場所：うきは果樹の村 やまんどん（福岡県うきは市浮羽町山北 2212-7）

出席者：

[九州大学大学院農学研究院]

平松和昭 研究院長、井上眞理 副研究院長、若菜章 准教授、若杉弘志 農学部事務長

[うきは市]

高木典雄 市長、吉岡慎一 副市長、岩佐達郎 市議会議員、高山敏枝 市議会副議長、

野鶴修 農林・商工観光課長

（２）「BK シードレス」の高品質ブランド「みつしずく」の販売本格化について

九州大学は、2011年より朝倉市、うきは市等で「BK シードレス」の現地試験栽培を実施し、試験栽培農家が生産した「BK シードレス」果実のうち高品質果実をブランド名「みつしずく」（登録番号第5583730号）として、ブランド化を支援してきました。2013年の試験販売を踏まえて、2014年7月に株式会社トキオ福岡は、商標「みつしずく」の独占使用権を取得し、JA 筑前あさくら、JA にじ及び福岡大同青果株式会社を通じて、本年8月より福岡市内の百貨店（岩田屋三越「南国フルーツ店」等）、コープ九州事業連合にて「みつしずく」ブランドで本格的に販売が開始されました。今後、九州大学、自治体と連携し、「攻めの農業」として輸出促進にも大きく関わって行く予定です。

■効 果

（１）うきは市との連携協定締結後は、うきは市での「BK シードレス」の現地試験栽培を継続的に行い、「BK シードレス」の栽培技術を確認するとともに、産地化に向けた課題について研究を進めます。加えて、日本における「BK シードレス」産地のモデルケースとして、学生及びブドウ生産者の教育に活用します。

（２）高品質果実を取り扱う百貨店等で「みつしずく」の販売が本格化することにより、生産果実の品質向上、消費拡大、結果としてブドウ生産者の経営改善が期待され、生産と消費の両面から日本の「攻めの農業」への貢献が期待されます。

■今後の展開

うきは市との協定締結により、日本で有数のブドウ生産地であるうきは市が、九州大学育成品種「BK シードレス」のモデル産地となることを目指します。九州大学は、この品種を用いた地域ブランド化、企業と連携した輸出促進と6次産業化を支援していきます。

2014年9月現在、福岡県内では40名以上の農家が「BK シードレス」の現地試験栽培に参加しており、2015年秋からは、日本各地の試験栽培協力農家が栽培している200本以上の「BK シードレス」から生産された果実の本格的な販売も始まる予定です。栽培普及の為に、2016年には苗木業者による苗木の販売開始が予定されており、全国的な栽培拡大が期待されます。今後、各地で生産された果実の品質を調査し、それぞれの地域に適した栽培法を確立することで生産果実の品質を向上させ、高品質ブランド果実の生産による地域の活力創造を支援します。

【お問い合わせ】

研究全般について

大学院農学研究院 助教 酒井かおり

電話: 092-947-0182

FAX: 092-947-0182

Mail: sakai@farm.kyushu-u.ac.jp

産学官連携について

有体物管理センター 教授 深見克哉

電話: 092-642-7317

FAX: 092-642-7130

Mail: mmc@mmc.kyushu-u.ac.jp